

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 3



平成25年4月30日 文責 高尾久美子



新聞やニュースでも取り上げられましたが、過去10年間で最も低い水位となっている河口湖では、六角堂まで歩いて行けます。この「六角堂」は、河口湖指定文化財で保存施設となっています。

文永6年（1269年）日蓮聖人が国家安泰を祈念するため、小立地区で説法をし、信者となった村人が、鼻曲がりの地に草庵を建てました。今でも小立地区には、鼻曲がり石が史跡として残っています。

文永11年（1274年）村落に近い、川窪の地に信徒の中心であった妙法、妙吉、日長が御堂を建てました。それが、「妙法寺」（現在の「六

角堂」）です。

永禄2年（1559年）大雨が降り湖水があふれ、村落や寺が水没してしまいました。（1560年）現在地に妙法寺を移築したといわれています。

この川窪の地に日蓮聖人の教えを授かった「妙法寺」は285年間、存在していたのです。そこで、町はこの地を史跡として残すべく保存として「六角堂」を建てました。

この「六角堂」まで歩いて行けるなんてめったにない体験です。この機会にみなさんも行ってみてはいかがでしょうか。

河口湖が、さらにきれいに！

4月13日、町内で活動するボランティア団体の方々を中心に、清掃活動を町が展開しました。六角堂周辺には、多くのゴミがあり、その日は、全体で2トンを超える大量のゴミを回収しました。

そこで、教育センターでも、地域の学習を兼ね「六角堂」まで歩き、その時に河口湖の湖底のゴミを拾う活動をしました。小さなゴミや新たなゴミがたくさん見つかりました。

この日は、天気もよく観光客がたくさん来ていました。教育相談に来ている子どもと相談員のみんなで、気持ちよく清掃活動に取り組みました。



各学校の様子を伺うと、どこも良いスタートができたようです。特に、不登校気味の子どもたちも気分を一新し、元気に登校しているという報告がありました。

しかし、連休明けには、大人もそうですが、「学校にいきたくないな。」という気持ちになってしまいがちです。

ぜひ、御家庭で、気持ちの切り替えを早めにして、元気よく登校できるように御配慮ください。